

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 Panitumumab+mFOLFOX6療法(ワンバック)
疾患名	大腸癌
診療科名	外科
登録医師名	岩川 和秀
適応	大腸癌

臨床区分

<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類

<input type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2012年8月4日
※2025年6月4日改訂	
1クール期間	14日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント	
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
1	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	15min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	パロノセトロン静注0.75mg	1	瓶															
	デキサメタゾン注射液 6.6mg	1.5	瓶															
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	60min※	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	投与終了後1時間は、経過観察すること 経過観察は2回目以降省略可 インラインフィルターを使用すること
	ペクティビックス点滴静注	6	mg/kg															
4	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時
		レボホリナート点滴静注用	200															
5	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチンは同時
		オキサリプラチン点滴静注液	85															
6	フルオロウラシル点滴静注	400	mg/m ²	持続点滴	側管	全開で	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとオキサリプラチン終了後 15分以内で投与終了
		生理食塩液	50															
7	フルオロウラシル点滴静注	2400	mg/m ²	点滴静注	側管	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ワンバック持続(46時間)
		ソルデム3A輸液	2000															
8																		

備考欄

※生理食塩液で希釈後の点滴溶液中の本剤の最終濃度は10mg/mLを超えないこと。本剤は、60分以上かけて点滴静注すること。ただし、1回投与量として1,000mgを超える場合は、日局生理食塩液で希釈し約150mLとし、90分以上かけて点滴静注すること。
改訂内容：ペクティビックス後の経過観察は2回目以降省略可

文献

--

減量・中止基準

mFOLFOX、FOLFIRIにおいては同レジメンの注意点を参照
<Panitumumab減量基準>
Grade3以上の皮膚障害発現時の用量調節の目安

皮膚障害の発現時の本剤の投与量	本剤の投与	投与再開の基準	本剤の用量調節
6mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下に回復	6mg/kgまたは4.8mg/kg
4.8mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下に回復	3.6mg/kg
3.6mg/kg	投与中止	-	-